



石油給湯機付ふろがま 取扱説明書

☐ CBK-N452SAF ☐ CBK-N4502SA

このたびは本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書を読んで正しいご使用方法でいつまでもご愛用くださいますようお願い申し上げます。

1. まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。
2. 保証書（この取扱説明書最終ページ）は必ず販売店名、設置日などの記入を確かめて、大切に保管してください。

長 府 工 産 株 式 会 社

目 次

特に注意していただきたいこと	1
各部の名称	4
使用前の準備	8
燃 料	8
給 油	9
運転開始前の準備と確認	10
使 用 方 法	12
お湯を使う	12
お風呂を沸かす	14
たし湯をする	16
残り湯を沸かしなおす	17
設定を変更する（風呂温度、お湯はり量、保温時間、音量）	18
風呂のお湯はりを予約する	20
チャイルドロック	21
インターホンで話す	22
浴室の様子を聞く（モニター）	23
その他の設定を変更する	24
凍 結 予 防	26
使用上の注意	28
長期間使用しないとき	28
安 全 装 置	29
その他の装置	29
日常の点検、手入れ	30
定 期 点 検	32
法 定 点 検	33
故障・異常の見分け方と処置方法	37
部品交換のしかた	39
仕 様	40
アフターサービス	42
据 付 け	43

特に注意していただきたいこと









- ここに示した事項は △警告 △注意 に区分しています。

△警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- マークについては次のような意味があります。

    ……「禁止していること」を表すマークです。
  ……「必ず行なうこと」を表すマークです。
  ……「注意すべきこと」を表すマークです。

警告 (WARNING)

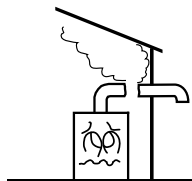
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



はずれ危険（屋内用機器の場合）

排気筒がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



排気筒の閉そく危険（屋内用機器の場合）

排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



注意 (CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、排気筒、排気トップに手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。



高温注意

入浴するときや、シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
循環口のまわりは高温になるので注意してください。
やけどのおそれがあります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。
特に、機器周辺にガソリン・ベンジン・スプレー缶などの引火性危険物は置かないでください。



囲い禁止（屋外用開放形の場合）

機器を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



分解修理・改造の禁止

故障や破損したときは、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。



異常時使用禁止

万一異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



⚠ 注意 (CAUTION)

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

ぬれた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

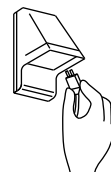
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。

ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



屋外では防水コンセントを使用する

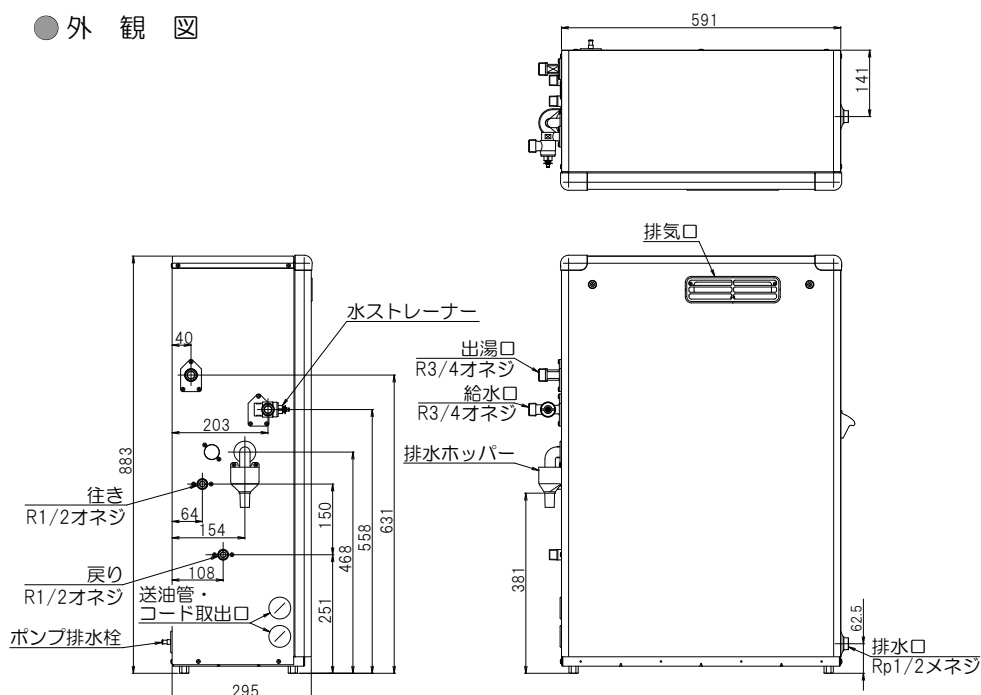
屋外では必ず防水コンセントを使用してください。漏電などにより、機器が故障するおそれがあります。



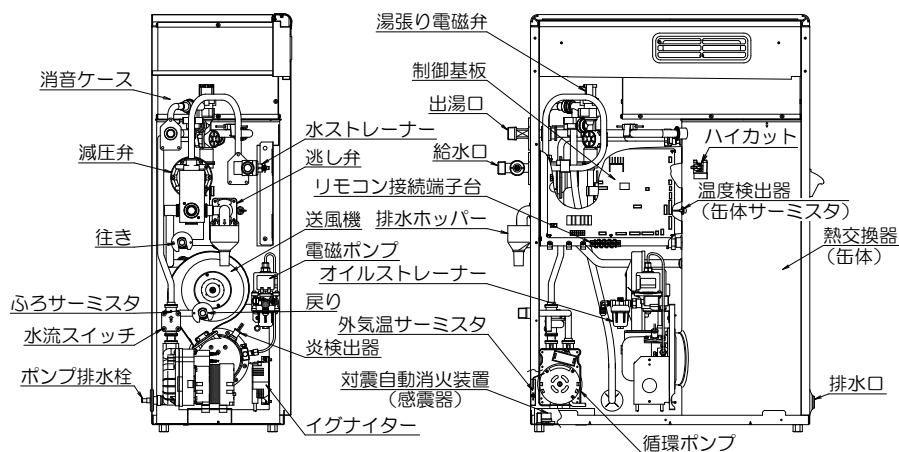
各部の名称

《 CBK-N452SAF 》

● 外 観 図

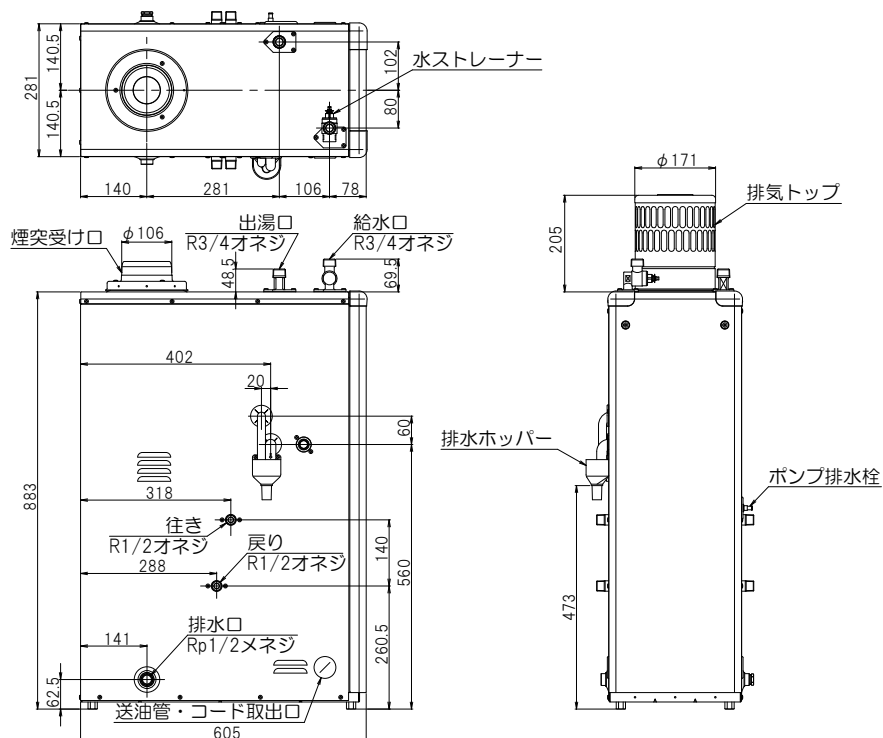


● 構 造 図

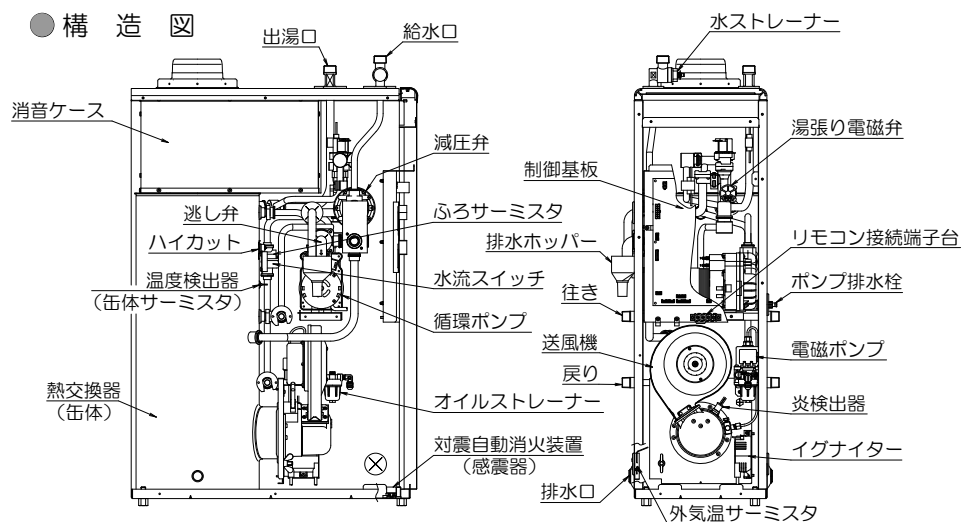


《 CBK-N4502SA 》

● 外 観 図

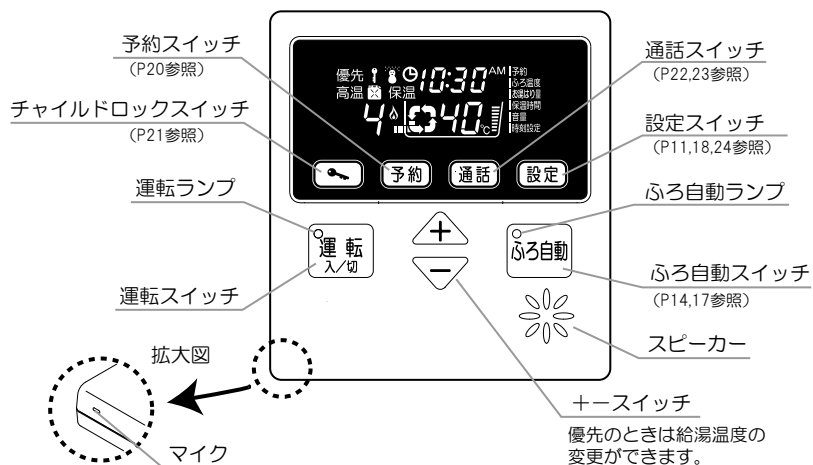


● 構 造 図

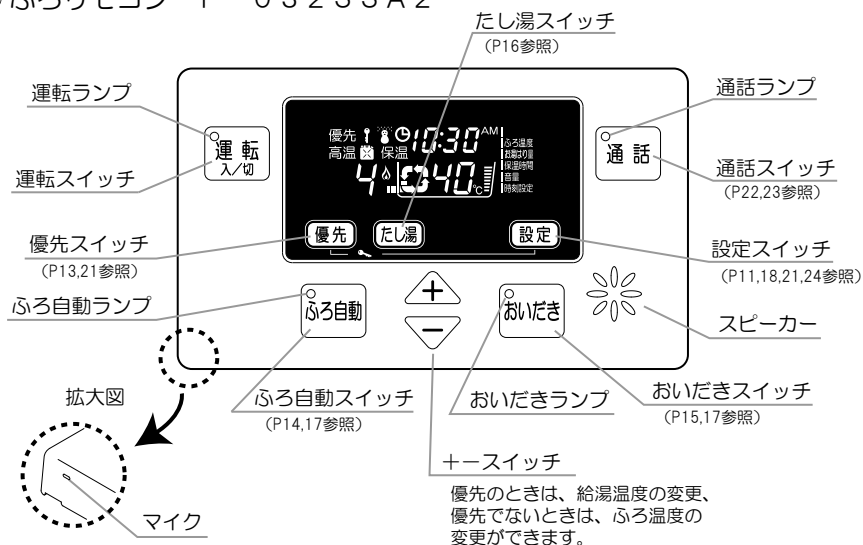


《 操 作 部 》

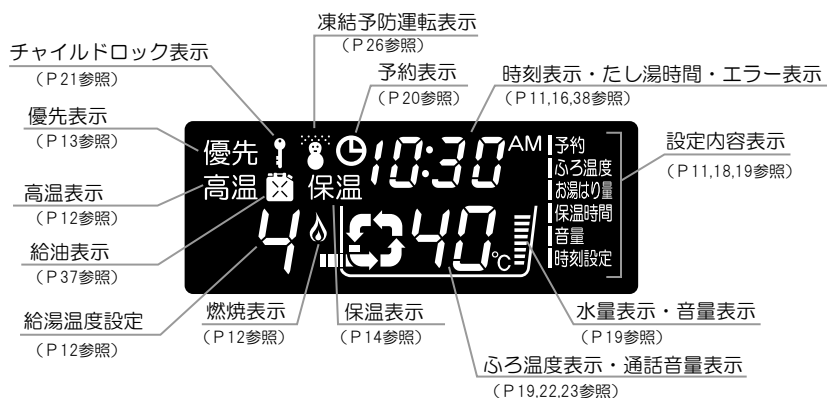
● メインリモコン M-032CA2P



● ふろリモコン F-032SSA2



リモコン表示部



表示部の節電について

リモコンは節電のため、一定時間機器を使用しないと表示が暗くなります。
「時計表示をしない」設定にすると (P 24～25参照)、暗い表示のあと消灯します。
(予約表示、給油表示、凍結予防運転表示が出ているときは消灯しません)
暗い表示または消灯しているときにスイッチを押すか、機器が作動すると明るい表示に戻ります。

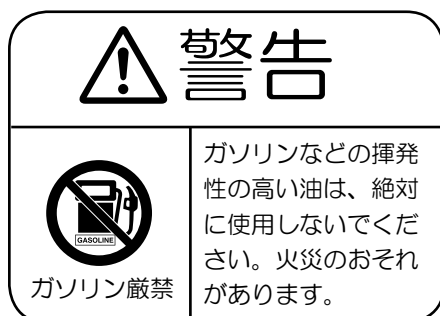


明るい表示から暗い表示、消灯までの時間は変更できます。(P 24～25参照)

使用前の準備

■ 燃 料

燃料は必ず灯油（J I S 1 号）をお使いください。



●変質灯油とは

- ・古い灯油
- ・日光の当る場所、高温の場所で長時間保管した灯油
（特に乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて保管したものは変質しやすい）
極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

●不純灯油とは

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ・水や灯油以外の油が混入したもの
（天ぷら油、機械油） | → 故障の原因になります。 |
| ・ガソリン、シンナーが混入したもの | → 火災の原因になります。 |
| ・助燃剤、水抜き剤などの添加物が混入したもの | → 故障の原因になります。 |
| ・ドラム缶のさびなどが混入したもの | → 燃料フィルターやくみ上げポンプのフィルターが詰まります。 |

注意



変質灯油や不純灯油を使用すると、ノズルづまりによる不着火や燃焼時に排気口から黒煙や白煙が出るなど、異常燃焼の原因になります。

■ 給 油

●給油の際の注意

給油の際に、水・ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水・ゴミなどは燃焼不良や、電磁ポンプの寿命低下などの原因となります。

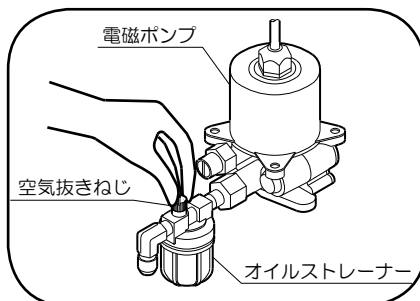
- (1) 油タンクの給油口ふたをはずし、灯油を市販の給油ポンプで油量計を見ながら給油してください。
- (2) 給油の際は、給油口のフィルターを取去らないでください。
- (3) 給油の際にこぼれた灯油はよくふきとってください。
- (4) 給油口ふたは、必ず元通りに閉めてください。

●燃料切れの注意

油タンクの油量を時々点検し、燃料切れになる前に必ず給油してください。据付けて初めて使用するときや、油タンクを空にし給油後初めて使用するときは、送油経路内に空気が入って点火できないことがあります。この場合は、次の要領で送油経路内の空気を抜いてください。

●送油経路の空気抜き方法

据付けて初めて使用するときは、送油経路内の空気抜きを行なってください。油タンクの送油バルブを開き、オイルストレーナーの空気抜きねじをゆるめて、灯油が連続して出てきたら、ねじを締めてください。このときこぼれた灯油はただちにふき取ってください。



- ・ 空気抜きは十分に行なってください。空気抜きが不十分ですと、点火しなかったり、燃焼中に消火することがあります。
- ・ もし点火しなかった場合やエラー表示「1 1 0」が出る場合は、運転スイッチを入れなおしてください。
- ・ 油タンク（送油経路）は空にしないように注意してください。

■ 運転開始前の準備と確認

● 機器への給水及び水漏れの確認

- (1) 運転スイッチを入れる前に、給水元栓が開いていることを確認し、給湯栓を開いて水が出ることを確かめてください。水が出ないときは、凍結していないか、排水栓が開いていないかなどを調べ、給湯栓から水が出るように処置してください。
- (2) 配管経路及び浴槽の排水栓や連結管の継手部分、循環管の接続部などに水漏れはないか確認してください。

● 送油経路からの油漏れの確認

油タンクに灯油が十分入っており、送油経路に油漏れがないか確認してください。

● 電気回路の確認

電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。

この機器は 100V 仕様で、50Hz、60Hz 共通です。

● 排気トップ、排気筒の接続の確認（CBK-N4502SA の場合）

排気トップ、排気筒は確実に接続してあり、漏れや、はずれがないか確認してください。

● 機器周辺の危険物などに関する注意

機器の周辺にガソリン、シンナーなどの危険物や、紙などの可燃物が置かれていないことを確認してください。

●時計を合わせる

初めてお使いになるとき、または停電などでしばらく通電しなかった場合は、リモコンの時刻表示が「-：-」になります。時計を合わせてください。

メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも設定できます。

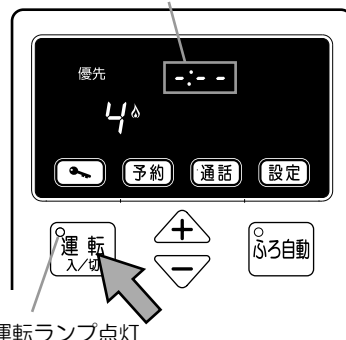
ここではメインリモコンで説明します。

初めて使用するときには「-：-」の点滅

- (1) **運転** スイッチを押して「入」にしてください。

- (2) **設定** スイッチを押すと設定内容表示が順番に「ふろ温度」→「お湯はり量」→「保温時間」→「音量」→「時刻設定」と点灯します。

時刻設定になるまで **設定** スイッチを5回押してください。

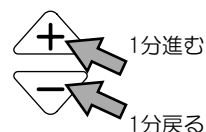
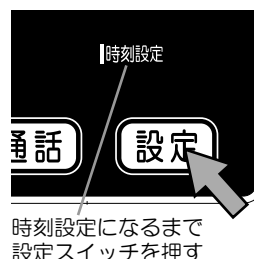


- (3) **+** **-** スイッチで現在時刻に合わせてください。

+ スイッチを1回押すと1分進みます。
押し続けると連続して進みます。

- スイッチを1回押すと1分戻ります。
押し続けると連続して戻ります。

- (4) **設定** スイッチを押すか10秒放置すると設定を終了します。



注意 時計を合わせないと予約運転ができません。



使用方法

■ お湯を使う

1. スイッチを「入」にする

運転ランプ、給湯温度設定が点灯します。数秒後にバーナーが燃焼を始め、燃焼表示が点灯します。

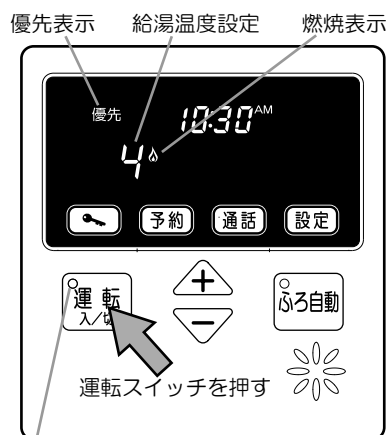
2. スイッチで給湯温度を設定する

リモコンの優先表示を確認してください。

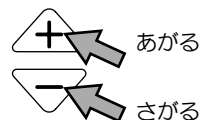
優先表示が点灯していないリモコンでは給湯温度の変更はできません。（優先についてP13 参照）

温度は1～8に設定できます。7以上に設定したときは高温表示が点灯します。

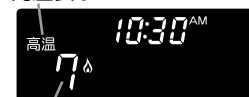
設置して初めてお使いになる場合、給湯温度は4に設定してあります。



運転ランプ



高温表示



給湯温度設定が7以上のとき高温表示点灯

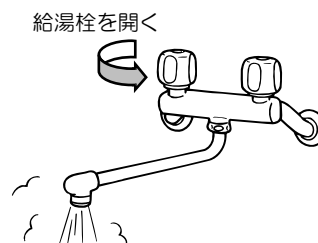
給湯温度設定	1	2	3	4	5	6	7	8
給湯温度のめやす	25℃	30℃	35℃	40℃	45℃	50℃	60℃	70℃

※給湯温度は、配管の長さや気温により変わります。また、一定の温度設定でも使用中に給湯温度が上下する場合があります。めやすとしてお使いください。


※通常お使いになるお湯の温度よりも高めの設定で、お湯と水を混ぜて温度調節して使用することをおすすめします。

3. 給湯栓を開く

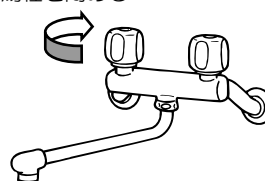
お湯の使用量や混ぜる水の量などにより、お湯の温度が変化することがあります。



4. 使用後は給湯栓を閉める

お出かけ、おやすみになるときなどは、メインリモコンの  スイッチを押して、運転ランプ消灯を確認してください。

給湯栓を閉める



注意



- ・お湯を使うときはリモコンでお湯の温度を確認してください。
- ・入浴やシャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
- ・サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの温度設定を低い温度にすると希望の温度にならないことがあります。このようなときは給湯温度を高い温度に設定してください。
- ・シャワーや給湯使用中は使用者以外の方が設定温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
- ・ふろリモコンに水を掛けしないでください。故障の原因になります。
- ・ふろ動作（お湯はり、おいだき、たし湯）中は給湯温度の変更はできません。

給湯量と給湯温度のめやす

季 節	給 水 温 度	給 湯 温 度	給 湯 量
夏	25℃	50℃（25℃上昇）	25 L/min
春・秋	15℃	50℃（35℃上昇）	18 L/min
冬	5℃	50℃（45℃上昇）	14 L/min

（表は計算上の値です）

【優先について】

お湯を使用しているときに、ほかの場所で給湯温度を変えると、急に熱湯になり、やけどをするおそれがあります。そのため給湯温度の変更は、1つのリモコンでしかできないようにしてあります。給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、「優先」が点灯しているリモコンで給湯温度が変更できます。（サブリモコンを使用している場合は、メインリモコンとサブリモコンが同時に優先になります）



スイッチを入れたリモコンが「優先」になります。

ふろリモコンの **優先** スイッチで「優先」を切替えることができます。

- ・メインリモコンを優先にする



スイッチを入れたおして優先を点灯させます。

- ・ふろリモコンを優先にする



スイッチを押して優先を点灯させます。

※お湯はり動作またはおいだき中は、自動的にふろリモコンが優先になります。

※ふろリモコンの スイッチは、ふろリモコンが優先のときは給湯温度の変更、ふろリモコンが優先でないときまたはおいだき中は、ふろ温度の変更ができます。

■ お風呂を沸かす

メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

ここでは、ふろリモコンで説明します。


1. 浴槽の排水栓を閉める

2. スイッチを「入」にする

ふろ温度、お湯はり量（時間）、保温時間の設定はP18～19を参照してください。


3. スイッチを押す

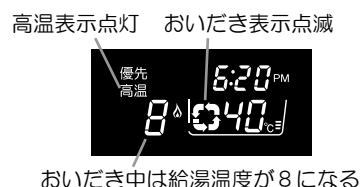
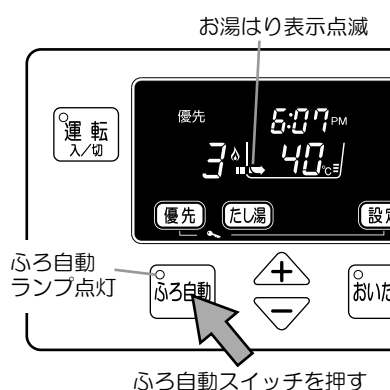
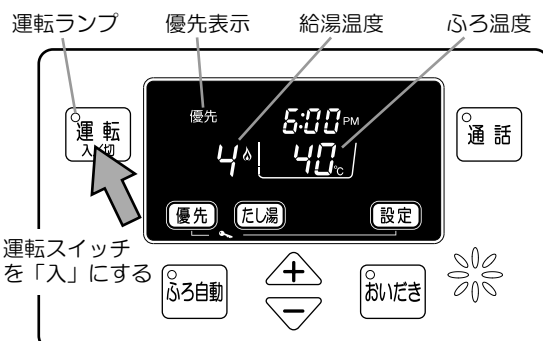
ふろ自動ランプが点灯してお湯はりを始めます。
お湯はりが終わるとおいだきをします。
お湯はり中は、ふろ温度、給湯温度、その他設定の変更はできません。

注意  お湯はり中は給湯温度が自動的にふろ温度より低い温度になります。
お湯はり中に他の給湯栓（シャワー・台所・洗面所）を使用するとお湯はり量が減少します。
おいだき中は給湯温度が自動的に8になります。給湯を使用するときはやけどに注意してください。

4. 音と音声でお湯はり終了をお知らせ


おいだきが終わると保温表示が点灯し、保温を開始します。

途中で保温を止めたいときは  スイッチを押してください。ふろ自動ランプが消えて保温を止めます。



【保温中に少し熱めにしたとき】


ふろリモコンで操作します。

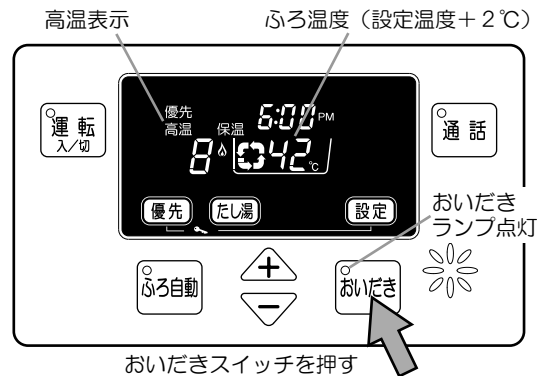
 スイッチを押してください。

おいだきランプが点灯し、ふろ温度より
2℃高くおいだきします。

このとき、リモコンのふろ温度表示には
2℃高い温度が表示されますが、おいだ
きが終わると、元のふろ温度に変わります。

おいだきを途中で止めたいときは

 スイッチを押してください。




注意 おいだき中は給湯温度が自動的に8になります。
給湯を使用するときはやけどに注意してください。



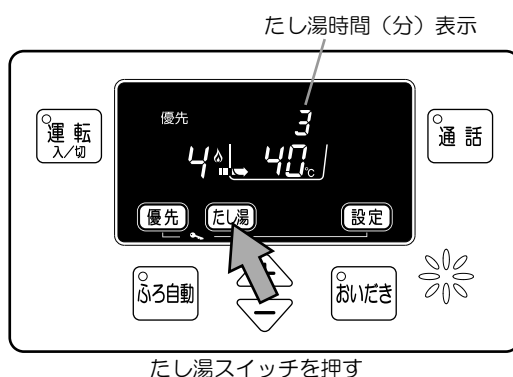
■ たし湯をする



ふろリモコンで操作します。


1.  スイッチを「入」にする


2.  スイッチを押す

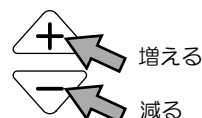
ふろリモコンの時刻表示部に、たし湯時間（分）を点滅表示します。



3.   スイッチで、たし湯時間を変更する

 スイッチを押すと1分増える

 スイッチを押すと1分減る



たし湯時間の変更は1分単位で、3分～30分に変更できます。


4.  スイッチを押すか10秒放置する


浴槽にたし湯します。


たし湯が終わると、ふろ温度までおいだきをします。

おいだきが終わると、ふろ自動ランプと保温表示が点灯し、保温を開始します。

保温の有無は変更できます。（P24～25参照）

途中でたし湯を止めたいときは  スイッチを押してください。

保温を止めたいときは  スイッチを押してください。

注意  給湯温度を高温で使用しているときや、おいだき直後にたし湯をすると、製品の特性上、初めの1～2分は高温のお湯が循環口から出ます。やけどに注意してください。

たし湯中は、給湯温度の変更はできません。

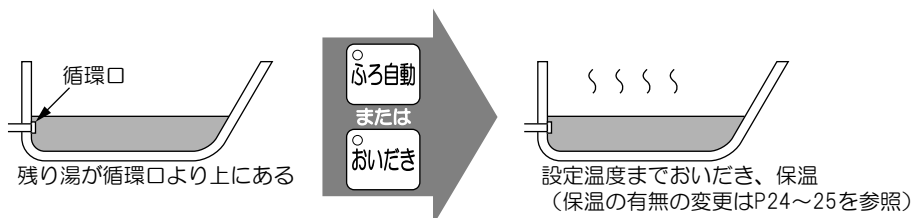
たし湯中に給湯を使うと、ふろ温度より低い温度のお湯が出ます。

たし湯中に他の給湯栓（シャワー・台所・洗面所）を使用するとたし湯量が減少します。

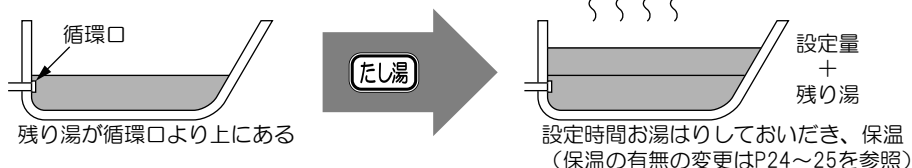
■ 残り湯を沸かしなおす

【残り湯が浴槽の循環口より上にあるとき】

ふろ自動スイッチまたは、ふろリモコンのおいだきスイッチを押してください。
設定ふろ温度までおいだきして保温します。

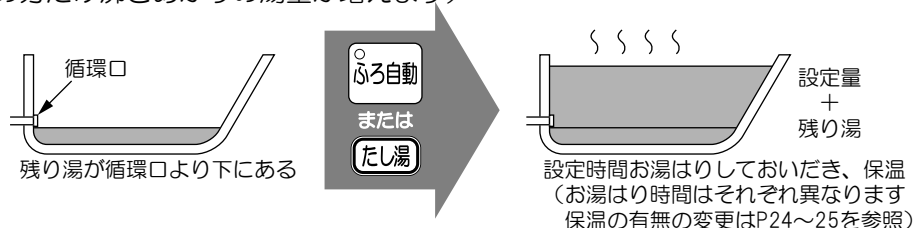


ふろリモコンのたし湯スイッチを押すと、設定された時間お湯はりをした後、設定ふろ温度までおいだきして保温します。



【残り湯が浴槽の循環口より下にあるとき】

ふろ自動スイッチまたは、ふろリモコンのたし湯スイッチを押してください。
設定された時間お湯はりをした後、設定ふろ温度までおいだきして保温します。(残り湯の分だけ沸きあがりの湯量が増えます)



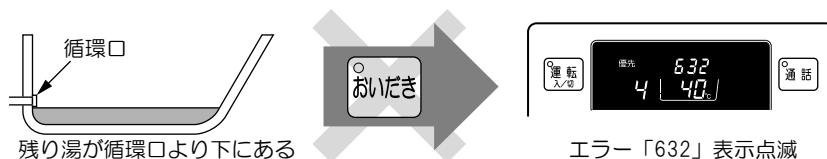
注意

残り湯が循環口より下にあるときは、おいだきができません。

このときに、おいだきスイッチを押すと、「水位をご確認ください」と音声が出て、おいだきを中止します。


循環口の上までお湯をはるか、ふろ自動スイッチで沸かしなおしてください。

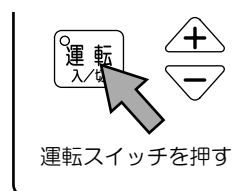
残り湯が循環口より下にあるときに、水位を上げないまま、おいだきを2回くり返すとエラー「632」が表示されます。そのときは循環口の上までお湯があるかを確認して運転スイッチを入れなおしてください。




■ 設定を変更する（ふろ温度、お湯はり量、保温時間、音量）

ふろ温度、お湯はり量、保温時間、音量の変更ができます。
メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

1.  スイッチを「入」にする



2.  スイッチを押して設定内容を選ぶ



 スイッチを押すごとに設定内容が「ふろ温度」→「お湯はり量」→「保温時間」→「音量」→「時刻設定」の順に切り替わります。

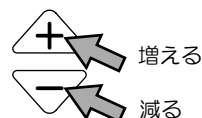
設定内容が順番に表示される



設定スイッチを押して
変更内容を選ぶ

3.  スイッチで値を変更する

 スイッチを押すと値が増える
 スイッチを押すと値が減る




それぞれの設定内容についてはP19を参照してください。

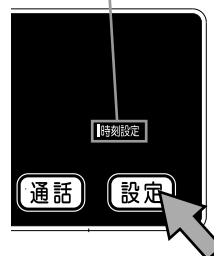
4.  スイッチを押す

変更が確定し、次の設定内容が点滅します。


「時刻設定」で設定が終わります。

 スイッチを2秒以上押すか、10秒放置すると途中で設定を終了します。

「時刻設定」で設定モード終了



設定スイッチを押して確定し、
次の設定内容に移動する

注意 ふろ自動（お湯はり、おいだき）中は  スイッチが使いません。
保温中は保温時間、音量、時刻の設定ができません。

《各設定内容の詳細》

■ 風呂温度の変更



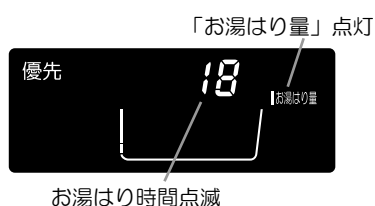
風呂温度は 36℃～ 48℃に設定できます。

42℃から 43℃に上げるときは スイッチを 2 秒以上押してください。

使い始めは 40℃に設定しています。

風呂温度は、配管の長さや気温により変わります。目安としてお使いください。

■ お湯はり量（時間）の変更



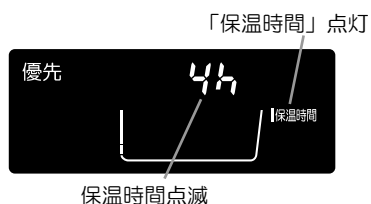
お湯はり時間（分）を設定します。

5 分～ 120 分に設定できます。

使い始めは 18 分に設定しています。

お湯はり時間が短いと、風呂を沸かすときに浴槽の循環口までお湯はりできず、エラー「032」が出る場合があります。

■ 保温時間の変更

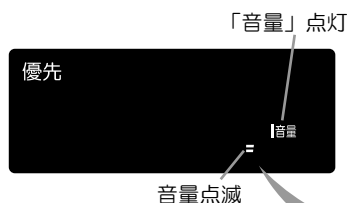


保温時間は 0～ 12 時間、24 時間に設定できます。時間を「h」と表示します。

0 h は保温なし、24 h は 連続保温になります。

使い始めは 4 時間に設定しています。

■ 音量の変更



操作音と音声ガイドの音量を変更します。

大、中、小、消音※の 4 段階に変更できます。リモコンごとに設定します。

使い始めは「中」に設定しています。



※消音について
音声ガイドが消音となり、
操作音は「小」の音量です。

■ 時刻の変更



時刻を変更します。

P11 を参照してください。

■ 風呂のお湯はりを予約する

希望の時間にお風呂が沸きあがります。

メインリモコンで操作します。運転スイッチが切の状態でも予約できます。

1. 浴槽の排水栓を閉める

2. **予約** スイッチを押す

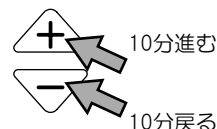
「予約」が点灯し、前回設定した予約時刻が点滅します。
使い始めは「－：－」が表示されます。



3. 表示した予約時刻を確認し、変更があれば

+ - スイッチで予約時刻を変更する

+ スイッチを押すと10分進みます
押し続けると連続して進みます。



- スイッチを押すと10分戻ります。
押し続けると連続して戻ります。

4. **予約** スイッチを押すか、10秒放置する

予約表示が点灯し、予約運転モードになります。



【予約をやめたいとき】

- ・予約表示が点灯しているときは**予約** スイッチを押してください。
- ・予約表示が消えて、風呂自動運転が始まっているときは、**風呂自動** スイッチを押して、風呂自動運転を停止してください。

注意

- ・時刻設定がされていないと予約ができません。
- ・予約時刻までの時間がお湯はり時間より短い場合は、沸きあがり予約時刻より遅くなります。
- ・風呂動作中に予約した場合は翌日の予約になります。
- ・予約中に風呂自動スイッチを押すと予約は解除されます。
- ・気温や配管の長さにより沸きあがり時間が変わります。予約時刻は目安としてお使いください。



■ チャイルドロック

子供の入浴時などでリモコンの誤操作を防ぐために給湯温度やふろ温度の変更を禁止します。

メインリモコン、ふろリモコンどちらでも操作できます。

【チャイルドロックをする】

メインリモコンの場合は  スイッチを押す

ふろリモコンの場合は  スイッチと  スイッチを同時に押す

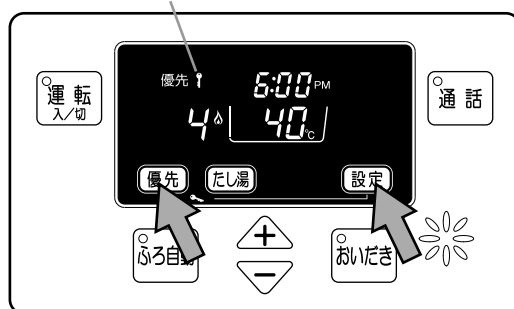
チャイルドロック表示が点灯し、給湯温度、ふろ温度の変更などリモコンの操作を禁止します。

通話スイッチ、運転スイッチは使用できます。

チャイルドロック表示





チャイルドロック表示



優先スイッチと設定スイッチを同時に押す

【チャイルドロックを解除する】

メインリモコンの場合は  スイッチを押す

ふろリモコンの場合は  スイッチと  スイッチを同時に押す

チャイルドロック表示が消え、チャイルドロックを解除します。

■ インターホンで話す

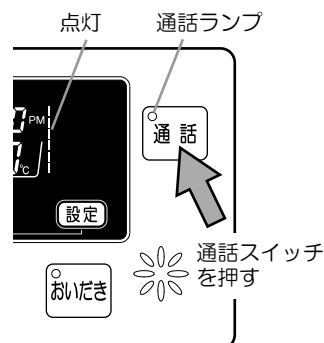
リモコン間で通話ができます。（メインリモコンとサブリモコン（別売）の間では通話できません）

メインリモコン、ふろリモコンどちらでも操作できます。

【 通話をする 】

通話 スイッチまたは **通話** スイッチを押す

通話ランプが点灯し、話すと相手のリモコンで聞こえます。
1 分後に自動的に通話を終了します。

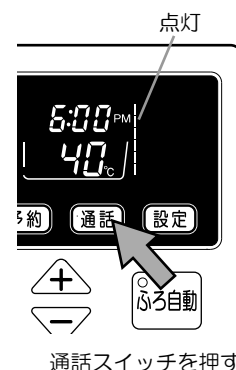


【 通話に対して返事をする 】

通話を受けているリモコンで

通話 スイッチまたは **通話** スイッチを押す

通話の方向が切り替わり、返事ができます。



【 通話を終わらせる 】

通話をしているリモコンで

通話 スイッチまたは **通話** スイッチを押す

通話が終了し、通話ランプが消えます。
スイッチを押さなくても1分たつと自動的に通話を終了します。

- ・通話は一方通行です。
- ・通話を受けた側で通話スイッチを押すと、通話方向が切り替わり、会話ができます。
- ・通話を受けた側で通話の音量を **+** **-** スイッチで変更できます。

通話の音量は 01（小）、02（中）、03（大）の3段階に変更できます。



通話を受けたリモコンの表示例

■ 浴室の様子を聞く（モニター）

浴室の様子（音）をモニターできます。

メインリモコンまたはサブリモコン（別売）で操作します。

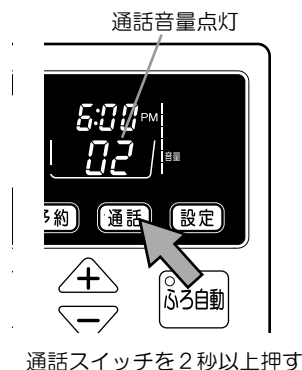
【 モニターをする 】

通話 スイッチを2秒以上押す

浴室の様子（音）が聞こえます。

約30分後に自動的にモニターを終了します。

+ - スイッチで音量を01（小）、02（中）、03（大）の3段階に変更できます。



【 モニターを途中で止める 】

通話 スイッチを押す、またはふろリモコンで **通話** スイッチを押す
モニターを終了します。

■ その他の設定を変更する

リモコンは節電のため、一定時間機器を使用しないと表示が暗くなり（暗点灯）、しばらくすると消灯します。（予約表示、給油表示、凍結予防運転表示が出ているときは消灯しません） このときの暗点灯になるまでの時間、消灯するまでの時間と、時刻表示の有無、凍結予防運転の有無を変更できます。

メインリモコン、ふろリモコンのどちらでも操作できます。

1. **運転** スイッチを「入」にする



2. **設定** スイッチと **+** スイッチを2秒以上押す

設定 スイッチを押すごとに項目番号が替わります。

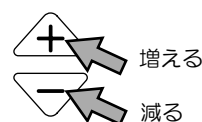
項目番号	設定内容
1	明点灯から暗点灯になるまでの時間（秒）
2	暗点灯から消灯するまでの時間（分）
3	時刻表示の有無
4	ふろ凍結予防運転の有無
5	保温運転の有無（たし湯・おいだき後の保温）



3. **+** **-** スイッチで設定値を変更する

+ スイッチを押すと値が増える

- スイッチを押すと値が減る



設定内容の詳細についてはP25を参照してください。

4. **設定** スイッチを2秒以上押すか10秒以上放置する

設定を終了します。



《各設定内容の詳細》

【項目番号 1】 明点灯→暗点灯時間設定



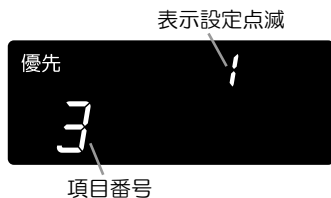
リモコンの表示が明るい表示から暗い表示に変わるまでの時間（秒）を設定します。
時間は 0 秒～ 255 秒に変更できます。
最初は 60 秒に設定しています。

【項目番号 2】 暗点灯→消灯時間設定



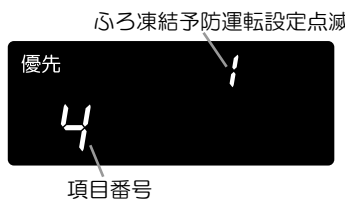
リモコンの表示が暗い表示から消灯に変わるまでの時間（分）を設定します。
時間は 1 分～ 255 分に変更できます。
最初は 5 分に設定しています。
※【項目番号 3】時計表示設定が「1：表示する」に設定されているときは消灯しません。

【項目番号 3】 時計表示設定



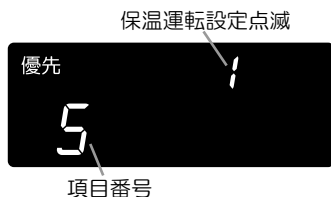
節電モードの時計表示の有無を設定します。
1：時計表示をする。
0：時計表示をしない。
最初は 1 に設定しています。

【項目番号 4】 ふろ凍結予防運転設定



ふろ凍結予防運転の有無を設定します。
1：ふろ凍結予防運転をする。
0：ふろ凍結予防運転をしない。
最初は 1 に設定しています。

【項目番号 5】 保温運転設定（たし湯・おいだき後の保温）



保温運転の有無を設定します。
1：保温運転をする。
0：保温運転をしない。
最初は 1 に設定しています。

■ 凍 結 予 防

凍結のおそれがあるときは、下記のいずれかの方法で凍結予防を行なってください。

●凍結予防運転による方法（電源プラグは抜かないでください）

外気温度が下がると凍結予防運転表示が点灯し、機器内部をヒーターであたためます。

また、ふろ配管の水の凍結予防のため、自動的に循環ポンプが作動します。このため凍結のおそれがあるときには『浴槽の残り湯を捨てず、そのまま』にしておいてください。また、水位が循環口より上にある状態にしておいてください。

運転スイッチの入／切にかかわらず凍結予防運転を行ないます。

凍結予防運転表示

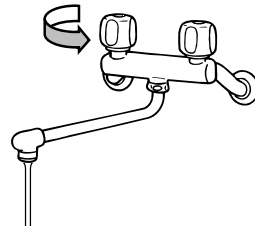


- お願い**
- ・電源プラグは絶対に抜かないようにしてください。
 - ・機器外の配管の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材で保温してください。
 - ・配管内の水が凍結するおそれのある場合は、「水抜きによる方法」を行なってください。
 - ・「ふろ凍結予防運転をしない」と設定している場合は（P25 参照）ふろ配管の凍結予防運転を行ないません。

●通水による方法（断水時には効果がありません）

運転を停止してください。給湯栓を開いて、浴槽に少量の水（1 分間に 400cc 程度、ただし特に寒い日には多めに）を流し放しにしておいてください。たまった水は雑用水としてご利用ください。

浴槽の給湯栓を開く



- お願い**
- ふろ配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材で保温してください。

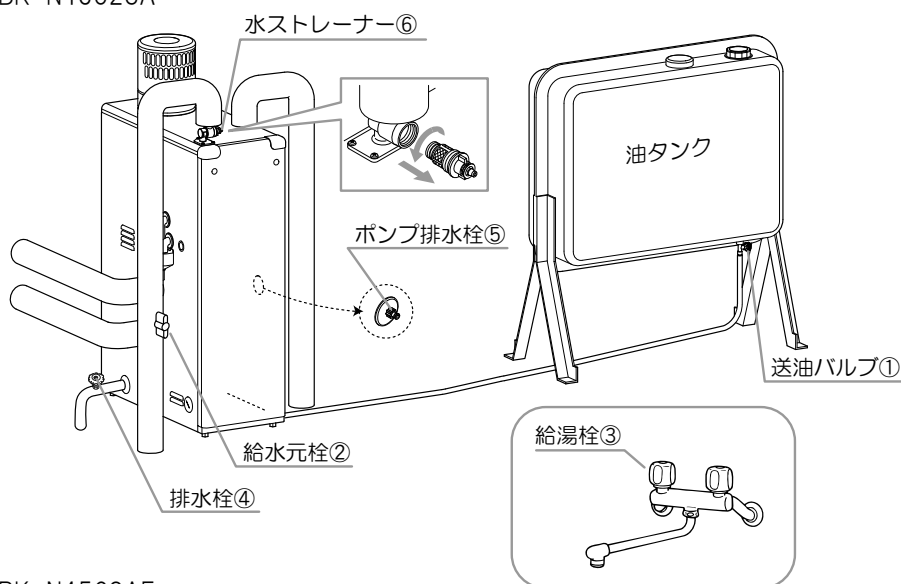
●水抜きによる方法

機器の水抜きは、運転スイッチを切って、機器内部のお湯が冷えてから行なってください。

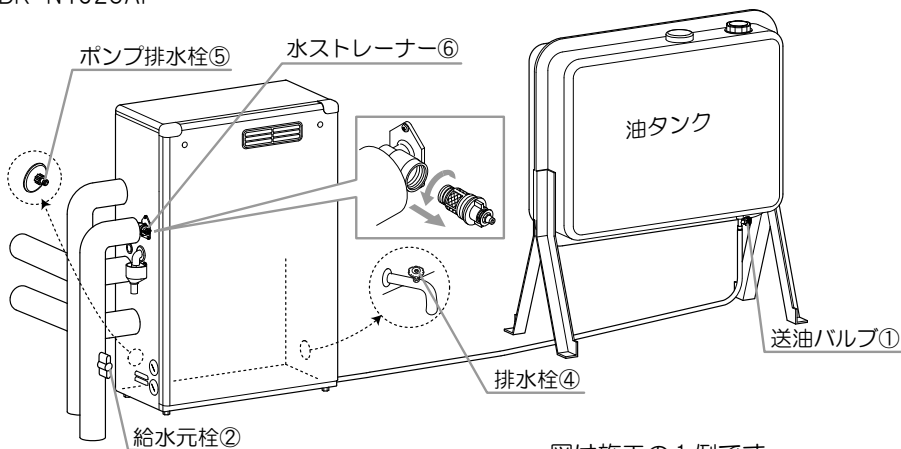
- (1) 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (2) 送油バルブ①を閉めてください。
- (3) 給水元栓②を閉めてください。
- (4) すべての給湯栓③、排水栓④、ポンプ排水栓⑤を開けてください。
- (5) 給水口の水ストレーナー⑥を押し込み、排水できていることを確認して水ストレーナー⑥を左に回してはずしてください。

お願い ふろ配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材で保温してください。

・CBK-N4502SA



・CBK-N452SAF



図は施工の1例です。
配管の形状などは実際と異なります。

■ 使用上の注意

- ・ 排気トップや排気筒は高温です。やけどに注意してください。
- ・ 缶体内や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがあります。
- ・ 浴槽の循環口はタオルなどでふさがないでください。
- ・ 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。
- ・ 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使用しないでください。水質によっては機器を腐食させる原因になります。
- ・ 機器点火時にテレビ・ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがありますが、点火放電によるもので異常ではありません。テレビ・ラジオなどは機器から3m以上離し、コンセントを別回路にすると、ノイズ（雑音）を減少させることができます。

■ 長期間使用しないとき

長期間運転を休止する場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、熱交換器、循環ポンプ及び配管内の水を完全に抜いてください。

また、油タンクの送油バルブを閉めてください。

安全装置

安全装置が作動した場合、原因を取り除いたあと、運転スイッチを入れなおしてください。

●対震自動消火装置（感震器）

運転中に機器が強い振動や衝撃を受けたとき、火災などの危険を防ぐために運転を停止します。

●燃焼制御装置（炎検出器）

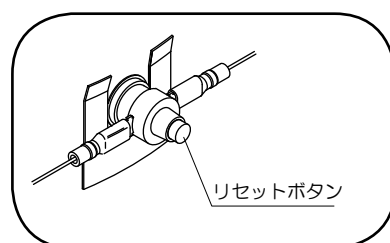
燃料切れなどの点火不良や、燃焼中に消火したとき、炎検出器が異常を感知して運転を停止します。

●停電安全装置

停電になると自動的に消火します。再通電した後、運転スイッチを入れなおしてください。

●過熱防止装置（ハイカット）

温度検出器の故障で熱交換器の温度が異常に上昇する前に、このスイッチが働き機器はすべての動作を停止します。異常を取り除きハイカットのリセットボタンを押した後、運転スイッチを入れなおしてください。



その他の装置

●熱交ハイリミット

温度制御装置（回路）の故障により熱交換器内部の湯の温度が異常に上昇した場合、運転を停止します。

日常の点検、手入れ

■ 点検、手入れのときの注意



- 点検、手入れを行なう前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 点検、手入れの際、次のことは絶対に行なわないでください。
 - ・対震自動消火装置（感震器）の取りはずし及び分解
 - ・温度センサーの取りはずし
 - ・電磁ポンプの圧力調節

■ 点検、手入れの必要項目、時期、手法

●周囲の可燃物（日常、常に点検）

燃えやすいものが落ちたり、ふれたりするおそれがないことを確認してください。火災の危険がありますので、周りに可燃物を置かないでください。

●ほこり（日常、常に点検）

機器の内部にたまったほこりや汚れにより、思わぬ事故になる場合があります。掃除をしてください。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常、常に点検）

日常、油漏れや油のたまり、油のにじみがあるかどうかを調べるよう習慣づけ、給油のときにこぼれた灯油はよくふき取ってください。万一油漏れによって油のたまり、油のにじみが生じているときは、運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

●送油管の点検（日常、常に点検）

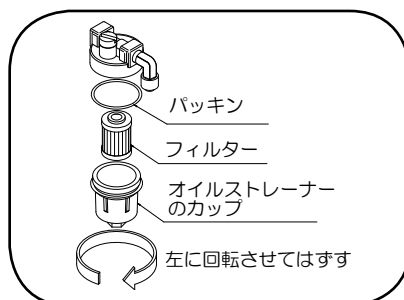
送油管から油漏れがないか点検し、油漏れがあれば運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

●油タンク内の水（給油時に点検）

油タンクに水やゴミがたまっているようであれば取り除いてください。

●オイルストレーナー（3 ヶ月に 1 回）

オイルストレーナーに水、ゴミなどがたまると電磁ポンプから振動音が出たり、点火不良や燃焼不良をおこすことがあります。3 ヶ月に 1 回程度、オイルストレーナーの掃除をしてください。



●排気トップ、排気筒（1 年に 1 回）（CBK-N4502SA の場合）

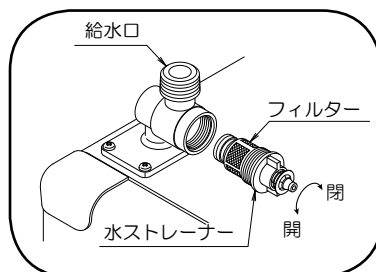
排気トップ、排気筒がつまると燃焼が悪くなります。年に 1 回以上は、すすなどのつまりがないか点検してください。排気トップ、排気筒の周辺の樹木など、可燃物には気を付けてください。

●水 漏 れ（日常、常に点検）

熱交換器・配管などから水漏れがないことを確認してください。水漏れがあればお買い上げの販売店にご連絡ください。

●水ストレーナーの掃除（1 ヶ月に 1 回以上）

給水口の水ストレーナーにゴミがつまると給湯栓からお湯の出る量が少なくなります。給水元栓を閉めて排水した後、水ストレーナーをはずして掃除してください。

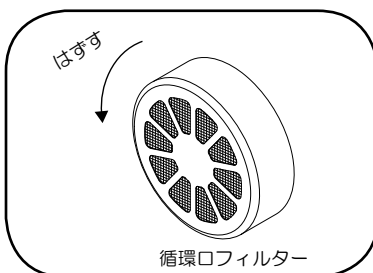


●逃 し 弁（1 ヶ月に 1 回）

逃し弁は配管の錆や、水あかなどによって、弁が固着することがあります。1 ヶ月に 1 回の割合で逃し弁のレバーを数回引き上げて、弁が固着していないかを確認してください。このとき弁から水が出るので注意してください。

●浴槽の循環口フィルター（日常、常に点検）

循環口フィルターを左に回してはすし、湯あかやゴミを取り除いてください。



●接 地（日常、常に点検）

機器にアース線が確実に接続されているか確認してください。



定期点検

●定期点検に関する注意

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。1年に1回程度、お買い上げ店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行なう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。

法定点検

▼本製品は、『消費生活用製品安全法（消安法）』の 長期使用製品安全点検制度で指定される特定保守製品です。

特定保守製品とは

…「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみて、その適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品のことです。

■ 点検期間になりましたら点検を受けてください

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品毎に設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者に責務として求められます（消安法第32条の14）。本製品に表示している法定点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください（点検は有料となります）。

なお、点検後も本製品のご使用を継続される場合には、任意の定期点検（有料）をこまめ（1～2年ごと）に受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

※法定点検は、その時点での点検基準に適合しているかの確認であり、その後の安全を保証するものではありません。

■ 所有者登録（必ず登録してください）

特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者が法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項及び第2項）。製品に同梱している「所有者票」に記入・投函していただくことにより登録となります。確実に「所有者票」に記入・投函をしてください。登録をされないと点検通知が届きません。

ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法及び当社規定による適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコールなど製品の安全に関するお知らせ以外には使用いたしません。

所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められます（消安法第32条の8第2項）。引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、「所有者票」に記載している問合せ連絡先にご連絡ください。

ご連絡をいただけない場合、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

■ 法定点検の通知

所有者登録をいただいた方に、点検期間開始前に点検を通知いたします（消安法第 32 条の 12）。

法定点検の期間は、製品本体への表示、または製品に同梱している「所有者票（お客様控え）」をご覧ください。

■ 法定点検の実施

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者が行います。

法定点検の内容は、特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。点検基準は消安法省令により、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。

点検を行いましたら、点検結果表にて点検結果をお知らせいたします。

点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をお知らせしますが、整備（修理を含む）をして使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

■ 法定点検の料金

点検費用は、お客様にご負担いただきます。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。なお、点検料金の設定の基準は、下記のアドレスからご覧いただけます。具体的な点検料金につきましては、「点検を行う事業所の配置／お問い合わせ先」にてご確認ください。

<http://www.chofukosan.com>

■ 任意の定期点検

製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検（有料）をお奨めします。定期点検（有料）に関する項目をご参照ください。

■ 設計標準使用期間

本製品は、設計標準使用期間を 10 年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第 32 条の 3）。「**無料修理保証期間**」とは異なりますのでご注意ください。（無料修理保証期間につきましては無料修理保証書をご参照ください）

●算定の根拠

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- ・始 期＝製造年月
- ・終 期＝ JIS S 2071 及び日本ガス石油機器工業会規格 JGKAS C 301 の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験などを行い、その結果算出された数値などに基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

注 意：使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または業務用など、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

標準的な使用条件（給湯）		
項 目		条 件
家 族 構 成		4 人世帯
使用環境	気温／湿度	20℃／ 65%
	季 節	中間期（春、秋）
使用条件	電 源 電 圧	AC 100 V
	周 波 数	50Hz ／ 60Hz
	給 水 温 度	15 ℃
	出 湯 温 度	40 ℃
使用頻度	1 日使用量	456 L
	1 日使用時間	1 時間
	1 年使用日数	365 日

標準的な使用条件（ふろ）		
項 目		条 件
家 族 構 成		4 人世帯
使用環境	気温／湿度	20℃／ 65%
	季 節	中間期（春、秋）
使用条件	電 源 電 圧	AC 100 V
	周 波 数	50Hz ／ 60Hz
	給 水 温 度	15 ℃
	沸き上り温度	40 ℃
使用頻度	入 浴 回 数	毎日
	沸き上り回数	1 日 1 回
	追いだし回数	1 日 2 回
	浴 槽 水 量	180 L

■ 点検を行う事業所の配置

- ▼ お問い合わせ先 ： お客様窓口／フリーダイヤル 0120-495-441
- ▼ 受 付 時 間 ： 平日 9：00 ～ 17：00（日・祝・盆・年末年始を除く）
- ▼ 事 業 所 ： 各地区の点検などに関する連絡は、裏表紙に記載の事業所、及び全国にあるサービス代行店で対応致します。また、下記アドレスからもご覧いただけます。インターネットでご確認できない場合は弊社までご連絡ください。

<http://www.chofukosan.com>

■ 法定点検の結果、必要と見込まれる整備用部品の保有期間

整備用部品の保有期間

- ・ 点火・消火装置に関する部品……………製造打切後 11 年
（点火プラグ・イグナイターなど）
- ・ 安全装置に関する部品……………製造打切後 11 年
（感震器・ハイカット・温度検出器・炎検出器など）
- ・ 水・湯の通路に関する部品……………製造打切後 11 年
（Ｏリングなど）

※整備用部品とは、経年劣化により不具合が発生するおそれのある箇所に関する部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。なお、補修用性能部品の最低保有期間は当製品の製造打ち切り後 7 年間です。

■ 本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ

製品を安全にご使用いただくために、月に 1 回程度は、お客様で日常的に点検やお手入れをしてください。

点検お手入れ前のご注意

- ・ 運転スイッチを「切」にするか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 製品の使用直後は製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れをしてください。

点検・お手入れの内容


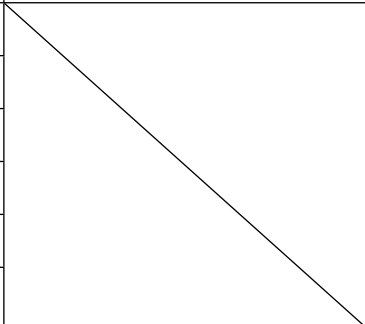
- ・ 日常の点検・お手入れに関する項目及び、安全上の注意に関する項目をご参照ください。

※次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、「点検を行う事業所の配置／お問い合わせ先」や、裏表紙に記載の事業所までご連絡ください。

- ▼運転中に機器から異常音が聞こえる ▼機器外観に異常な変色や傷がある
- ▼機器・配管から水漏れがある ▼排気口・排気トップ部にススがついている

故障・異常の見分け方と処置方法

故障や異常を感じたときは使用をやめて、修理を依頼される前に次表により原因を調べて処置をしてください。原因のわからないときは、そのままにしてお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

状 況	原 因	処 置 方 法
電源が入っていない	停電している。	再通電するのをお待ちください。
	電源プラグが抜けている。	電源プラグを差してください。
	制御基板のヒューズが溶断している。	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
運転スイッチを入れても作動しない	リモコンコードの不具合。	
	リモコンまたは制御基板の故障。	
給油表示  が点灯している※	灯油が残り少なくなっている。	給油してください。
リモコンの表示が消える	節電モードになっている。	スイッチを押すと表示されます。
いったん正常に運転するが、約30秒後に停止する	油切れまたは送油バルブが閉じている。	給油してください。 送油バルブを開いてください。
	送油経路の空気抜きが不十分。	空気抜きをしてください。(P9 参照)
	オイルストレーナーのゴミづまり。	ゴミを取り除いてください。(P31 参照)
	油タンクに水がたまっている。	タンクの水を抜いてください。
給湯温度を変更できない	リモコンが優先になっていない。	優先にしてください。(P13 参照)
	チャイルドロックがかかっている。	チャイルドロックスイッチを押してください。(P21 参照)
	ふろのお湯はりまたはおいだき中。	おいだき終了までお待ちください。
給湯温度が低い	温度調節が低い。	温度調節を高くしてください。
	お湯の出しすぎ。	給湯量を少なくしてください。
途中で水になる	油切れ。	給油してください。
ふろが沸かない、または沸きが遅い	循環口フィルターのつまり。	掃除をしてください。(P31 参照)
	すでにふろが沸きあがっている。	ふろ温度を上げてください。
	ふろ配管経路からの放熱。	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
排気口からすすが出る		
燃焼ガスの臭いがきつい		
油漏れしている		
水漏れしている		
異常な燃焼音がする		
エラー表示が出る		モニター表示による処置方法（次頁）を参照してください。

※別売の減油感知器を使用している場合

■モニター表示による処置方法

リモコンのエラー番号により、故障原因を判断することができます。お買い上げの販売店または弊社まで連絡していただく場合はエラー番号をお知らせください。

エラー番号は時刻表示部に点滅表示します。

(右図：エラー番号「110」の表示例)



エラー番号	故 障 内 容	処 置 方 法
032	排水栓忘れ	浴槽の排水栓を閉めているか、お湯はり時間の設定が適切かを確認して運転スイッチを入れなおしてください。
100	電源周波数の異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
110	着火不良、不着火	運転スイッチを入れなおしてください。 繰り返し表示されるときはお買い上げの販売店に連絡してください。
120	途中失火、油切れ	給油して運転スイッチを入れなおしてください。
141	熱交ハイリミットの作動	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
151	ハイカットの作動	
162	ふろハイリミットの作動	
220	対震自動消火装置（感震器）の作動	機器に異常がなければ運転スイッチを入れなおしてください。
252	水流スイッチの異常	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
310	外気温サーミスタの異常	
322	ふろサーミスタの異常	
331	缶体サーミスタの異常	
450	送風機の回転数異常	
632	循環ポンプの異常	浴槽の循環口までお湯があるかを確認して運転スイッチを入れなおしてください。繰り返し表示されるときはお買い上げの販売店に連絡してください。
710	電磁ポンプ回路の故障	お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。
720	疑似火災	
760	リモコン通信異常	

■次のような場合は故障ではありません

給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
湯が白く濁って見える	水中に溶けていた空気が細かい泡となって白く見えるためです。問題はありません。
出湯量を多くすると給湯温度が低くなる	給湯能力以上のお湯が出ていますので、給湯栓を絞ってください。

部品交換のしかた

交換品が必要なときは、お買い上げになった販売店でお求めください。

- 修理は（財）日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術管理講習会修了者〔石油機器技術管理士〕の修理をお受けください。

仕 様

型 式		CBK-N452SAF
型 式 の 呼 び		CBK-N45（区分：2SAF）
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給 排 気 方 式	屋外用開放形
	給 水 方 式	水道直結式（減圧弁、逃し弁内蔵）
	加 熱 方 式	1 缶 2 水路式
	加 熱 形 態	貯湯式急速加熱形
	循 環 方 式	強制循環式
点 火 方 式		高圧放電式
使 用 燃 料		灯油（J I S 1 号灯油）
燃 料 消 費 量		50.2 kW（4.88 L /h）
湯 沸 効 率		79.0%
連 続 給 湯 効 率		88.0%
連 続 給 湯 出 力		44.2 kW（38,000kcal/h）
熱 交 換 器 容 量		給湯側 13.2 L ふろ側 1.2 L
最 高 使 用 圧 力		0.1 MPa
伝 熱 面 積		0.90 m ²
外 形 寸 法		高さ 883 mm×幅 591 mm×奥行 295 mm
質 量		38.7kg
電 源 電 圧 及 び 周 波 数		AC 100 V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時 130/129 W 燃烧時 94/92 W
	給湯・ふろ同時使用	点火時 211/242 W 燃烧時 175/205 W
待 機 時 消 費 電 力		運転スイッチ「切」時 2.9 W
排 気 温 度		260℃以下
騒 音 レ ベ ル		52 dB（A）
ノ ズ ル	噴 霧 量	1.2 GPH
	スプレーパターン	KH
	噴 霧 角 度	60 度
循 環 管 取 付 口 径		R1/2
基 準 浴 槽		有効水量 200～300 L
電 流 ヒ ュ ー ズ		10 A
安 全 装 置		対震自動消火装置（感震器）、燃烧制御装置（炎検出器）、停電安全装置、過熱防止装置（ハイカット）
そ の 他 の 装 置		熱交ハイリミット
附 属 品		アース線（1）、メインリモコン（1）、メインリモコンコード（1）、ふろリモコン（1）、ふろリモコンコード（1）、ステーパイプ（1）、ステーパイプカバーセット（1）、排水ホッパー（1）、取扱説明書（1）、工事説明書（1）、所有者票（1）

型	式	CBK-N4502SA
型	式 の 呼 び	CBK-N450 (区分：2SA)
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給 排 気 方 式	屋外用開放形、屋内外用半密閉式強制排気形
	給 水 方 式	水道直結式（減圧弁、逃し弁内蔵）
	加 熱 方 式	1 缶 2 水路式
	加 熱 形 態	貯湯式急速加熱形
	循 環 方 式	強制循環式
点	火 方 式	高压放電式
使	用 燃 料	灯油（J I S 1 号灯油）
燃	料 消 費 量	50.2 kW (4.88 L /h)
湯	沸 効 率	79.0%
連	続 給 湯 効 率	88.0%
連	続 給 湯 出 力	44.2 kW (38,000kcal/h)
熱	交 換 器 容 量	給湯側 13.2 L ふろ側 1.2 L
最	高 使 用 圧 力	0.1 MPa
伝	熱 面 積	0.90 m ²
外	形 寸 法	高さ 883 mm×幅 281 mm×奥行 605 mm
質	量	39.1kg
電	源 電 圧 及 び 周 波 数	AC 100 V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時 130/129 W 燃烧時 94/92 W
	給湯・ふろ同時使用	点火時 211/242 W 燃烧時 175/205 W
待	機 時 消 費 電 力	運転スイッチ「切」時 2.9 W
排	気 筒 径	φ 106 mm
排	気 温 度	260℃以下
騒	音 レ ベ ル	52 dB (A)
ノ ズ ル	噴 霧 量	1.2 GPH
	ス プ レ ー パ タ ー ン	KH
	噴 霧 角 度	60 度
循	環 管 取 付 口 径	R1/2
基	準 浴 槽	有効水量 200 ～ 300 L
電	流 ヒ ュ ー ズ	10 A
安	全 装 置	対震自動消火装置（感震器）、燃烧制御装置（炎検出器）、停電安全装置、過熱防止装置（ハイカット）
そ	の 他 の 装 置	熱交ハイリミット
附	属 品	アース線 (1)、メインリモコン (1)、メインリモコンコード (1)、ふろリモコン (1)、ふろリモコンコード (1)、ステーパイプ (1)、ステーパイプカバーセット (1)、排水ホッパー (1)、取扱説明書 (1)、工事説明書 (1)、所有者票 (1)、排気トップ (1) …別こん包

アフターサービス

●修理について

ご使用中に異常が生じ、37～38ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置をしても、なおらない場合には、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。なお、ご連絡されるときは、機器の型式名及びお買い上げ時期をお知らせください。

- ・ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社までご相談ください。
- ・保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

●保証書について

保証書は、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

保証書に設置日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたします。

この機器の保証期間は設置日から2年です。その他の詳細は保証書をご覧ください。

この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

●補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後7年間となっています。

なお、補修用性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。

据 付 け

■ 据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、工事説明書をお読みください。

■ 騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

■ 据付け工事後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

■ 試 運 転

試運転は必ず販売店または据付業者と一緒に行ってください。

1. 運 転 準 備

(1) 給油及び送油経路の空気抜きと油漏れの確認

- ・ 油タンクへの給油は油量計を見ながら行ってください。
- ・ 送油経路内の空気抜きを行ってください。（詳しくは9ページをお読みください）
- ・ 送油経路に油漏れのないことを確認してください。

(2) 給水及び水漏れの確認

- ・ 給水元栓を開いてください。
- ・ 給湯栓を開き、水の出ることを確認してください。
- ・ 配管経路からの水漏れのないことを確認してください。

(3) 電源プラグ差し込みの確認

- ・ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。

2. 運 転

(1) 運転開始手順

- ・油タンクの送油バルブのつまみを全開にします。
- ・運転スイッチを押して運転を開始します。(詳しくは 12 ページをお読みください)

(2) 初期運転時の異常現象

電磁ポンプ内に空気を吸い込むと運転時に異常音を発し、正常に燃料を噴霧しません。このとき、空気抜きをしないと、数回の点火操作を必要とする場合があります。(詳しくは 9 ページをお読みください)


また、機器の設置条件などにより、燃焼空気が不適正の場合は、異常発煙や振動燃焼を生ずることがあります

(3) 正常運転のめやす

上記の初期運転時の異常現象がなく、排気筒から黒煙など出ていないことを確認してください。

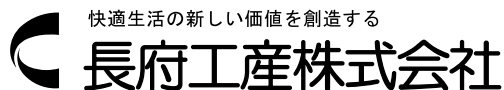
3. 消火の手順

運転スイッチを押して運転を停止します。

	長年ご使用の石油給湯機の点検を！	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水漏れがする ●油漏れがする ●煙が出たり、強い臭いがする ●運転中に異常な音や振動がする ●その他の異常や故障がある 	<p>このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため、運転スイッチを「切」にし、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。</p>

便利メモ

型 式		設置日	年	月	日
販売店名	電話番号（ ）				



快適生活の新しい価値を創造する

長府工産株式会社

本 社	〒752-0977 山口県下関市長府東侍町 1-5 TEL：083-245-5441(代) FAX：083-245-9644
大 阪 支 社	〒567-0031 大阪府茨木市春日 3-14-17 TEL：072-625-5338(代) FAX：072-625-5742
東 北 支 店	〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東 6-7-47 TEL：022-391-1215(代) FAX：022-391-1565
関 東 営 業 所	TEL：0285-22-6822 FAX：0285-22-6595
長 野 営 業 所	TEL：0263-29-7090 FAX：0263-29-7087
横 浜 営 業 所	TEL：045-989-5885 FAX：045-989-5886
静 岡 出 張 所	TEL：0545-34-4355 FAX：0545-34-4388
名 古 屋 営 業 所	TEL：052-800-5553 FAX：052-800-5563
熊 本 営 業 所	TEL：096-386-2370 FAX：096-386-2371
宮 崎 営 業 所	TEL：0985-50-7624 FAX：0985-50-7869
鹿 児 島 営 業 所	TEL：099-260-2052 FAX：099-266-2410
沖 縄 営 業 所	TEL：098-874-2397 FAX：098-874-2819